

議会報告会開催概要（釧路地区）

開催日時	平成 25 年 10 月 25 日（金） 18：00～19：31
開催場所	コア大空（学習室）
参加人数	17 人
出席議員	<p>黒木 満議長</p> <p>月田光明副議長 ～質疑応答・意見交換進行役</p> <p>高橋一彦議員（議会運営委員長）</p> <p>菅野 猛議員（総務文教常任委員長）</p> <p>梅津則之議員（総務文教常任委員）</p> <p>鶴間秀典議員（総務文教常任委員）</p> <p>畑中優周議員（経済建設常任委員長）</p> <p>松尾和仁議員（経済建設常任委員）</p> <p>秋田慎一議員（民生福祉常任委員長）</p> <p>大島 毅議員（民生福祉常任委員）</p> <p>土岐政人議員（石炭対策特別委員長）</p> <p>松橋尚文議員（広報特別委員長）</p>
質疑応答の内容	<p>問：新聞等では給食費の滞納額が大きくなっていると報道されているが、議会としてどのような話し合いをしているか。</p> <p>菅野：未納が増加すると給食の質に影響してくるため、厳しく対応するよう議会でも論議されている。</p> <p>梅津：教育委員会ではそれぞれの家庭の事情を聞き、払えるのに払わない場合と、払うのが困難な場合とは、分けて対応していると聞いている。もしそうでなければ、議会の中でまた議論させていただきたい。</p> <hr/> <p>問：町内会の加入促進について、議会として議論はしているか。</p> <p>秋田：議員もそれぞれの地域で町内会活動に携わっているが、同じように悩んでいる。防災・高齢化社会という視点からも、自助・共助が重要となってきたおり、議会でも町内会の加入促進について取り組んでいきたい。</p> <hr/> <p>問：基礎学力保障条例は、全国的にも例のない先駆的な取り組み</p>

で、素晴らしいものだと感じている。またソチ五輪に向け、苫小牧では行政主導で選手の応援の事業をしているが、釧路市ではこうした取り組みを行う予定はないのか。

菅野：議会でもご指摘の件についての議論があり、それを受けて市役所ロビーに選手の名前を掲示するようになった。オリンピック開催が近づくにつれ、そういう取り組みは必要だと感じているが、それを民間でやるのか、市役所や議会がどう関わるかということについては、さらに考えていかなければならない。

畑中：女子アイスホッケーでは釧路に2チームあるが、市の対応としては、月4回の市営リンク使用料が無料となっている。また、市を挙げての壮行会をとっている思いはあるが、現在選手は練習に専念しており、時間的にも難しいというのが現状である。

問：苫小牧では既に選手を応援する取り組みが行われており、後れをとりすぎていると感じる。何とか市議会のほうで、実施に向けて方向性を見出せないかと思う。

月田：何ができるか検討し、前向きに取り組んでいきたい。

問：防災・減災について、海岸域が壊滅的になってしまうと消防分団は機能しなくなる。そうすると他の応援が必要となるが、他都市の消防分団の応援を頼むためには、市長からの要請が必要となる。現状で迅速な要請は可能か。また、備蓄されている物品に、救助のための照明器具や工具がほとんどないような状況である。行政だけでは整備が難しいので、家庭防災推進員、消防分団、町内会、社会福祉協議会などと連携した備蓄を行えないのか。さらに、東日本大震災では56名の民生委員が亡くなったが、補償が数万円という話である。議会での議論はあったのか。

菅野：備蓄については、市としては津波に関する国のシミュレーションが平成26年度に発表されるため、その内容が確定しないと具体的に動けないため、現在その情報待ちだとの見解が議会でも示されたところである。また、分団員の広域的な連携についてのルールづくりはまだ確立していない。内陸部との連携は

今後考えていかなければならない。

鶴間：内陸部との協定は必要と考える。また備蓄に関して消防署では、災害に対応する高度作業車を購入している。水難用ドライスーツ等の備蓄品を更新しており、消防団に対する配備も今後されていくべきだと思う。

秋田：民生委員の補償については、まだ議会での議論はない。一自治体での対応が可能かということもあるが、今後ご指摘も踏まえ、議会でも議論していかなければならないと考える。

月田：本年8月に、新たなシミュレーションを受けてハザードマップを作成、全戸配布され、緊急避難場所が示されたが、今後は食糧その他の資機材をどう確保するのかが議論となる。また、消防分団からも行政や議会へ要望等をおこなっていただきたい。

問：報告の中で、市立病院改築に係る臨時駐車場の話があったが、市立病院は普段から駐車できる台数が少ないが、その点についての議論はあるか。

秋田：改築に伴い狭くなる駐車場の補完については議論されているが、駐車スペースの増加については、今後議論していきたい。

問：国際戦略バルク港湾について、その後の情報が見えなくなっているが、どのような状況になっているのか。

畑中：今年度は若干の予算措置がなされているが、来年度の予算獲得に向け、国に対し要請活動をしている。西港近辺や別海町近辺の道路を見ると拡幅工事が行われており、バルク港湾の活用に向けて、後背地の整備が着実に進んできていると実感している。バルク港湾については、世界的視野で見た場合に、北極海を通る航路を使って短時間で欧米へ輸送ができる可能性もある。また、6次産業として別海の牛乳をそのまま輸送するのではなく、アイスクリームやチーズの製造工場を西港付近に誘致し、そこから製品を発送するという事も検討するなど、市議会としてもバルク港湾に関する取り組みについては一層努力していきたい。

問：春採湖の遊歩道が先の大雨で崩落し通行禁止となっているが、遊歩道利用者が歩いた形跡があり、仮歩道を設けて対応するなど単純に通行止めにするればよいものでもない。また、いつまでに直すのか聞きたい。

畑中：私も現地を見たが、法面が崩れ危険だと認識している。先般、現地の測量を発注したが、業者が多忙のため着手できていない状況である。ご指摘の状況を踏まえ、再度、担当課に最低限歩けるようにしてほしい旨相談したい。

問：北方領土に興味があるが、ビザなし訪問はどのようにして参加できるか。

鶴間：国の主導で年間6回くらい実施されている。取りまとめは北方領土対策推進協議会という国の外郭団体で、返還団体の要望を受け参加者を振り分けている。ビザなしなので訪問を希望されるのであれば、そのような団体活動に携わることが必要になる。

高橋：訪問には国会議員の枠があるので、釧路管内の議員枠も設けてほしいという話を進めている。また、議員の会合等で署名活動をやっているところもある。

月田：個人としての参加は難しいと思われるので、団体の主催者の方に問い合わせてもらいたい。

問：根室で、大地みらい信用金庫が主導で海外にサンマ等の販売をしていると聞いた。TPP対策での取り組みとのことだが、釧路でも企業、金融機関、行政で出資して台湾などにアンテナショップをつくってはどうかとのアイデアもあるようだ。根室では金融機関の主導になったが、金融機関では難しいと思うので、行政主導でそのような取り組みは行えないものか。

畑中：釧路は釧路コールマインの関係で中国、ベトナムと強い関係を持っているが、炭鉱だけでなく水産物や農産物などの分野でも力を入れていかなければならないとの認識はある。11月にはベトナムや台湾を訪問するので、現地の状況や先方の反応などを見て、しっかり勉強してきたい。

<p>議会への 意見・要望</p>	<p>問：先般、日台親善協会の会合が開かれたが、台湾との信頼関係がつくられてきていると感じる。台湾では釧路との交流について様々な取り組みを進めているとの話も聞くので、今後もより積極的な関係づくりを期待する。</p> <p>月田：貴重なご意見、しっかりと受け止めさせていただき、議会での議論に反映させていき、具体的な成果を上げていけるようにしたい。</p>
<p>市への 意見・要望</p>	<p>問：数年前、町内会館の補助金が半額となった際、説明に来た市の担当部長に対し、市の関係者に町内会未加入の人が多いという旨を話したところ、市長に申し伝えた上で、市職員の町内会加入を推進すると聞いたが、全く伝わっていない状況であった。市長が未加入者に直接言うべきと考えるが、それができないのであれば議会から働きかけるべきではないか。また、社会福祉協議会と町内会が取り組んでいる緊急連絡カードの普及の観点からも、町内会への加入促進に力を入れるべきである。</p> <p>月田：担当の民生福祉常任委員長から、市長に対し確実に推進するよう伝える。</p>